

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
M314M104	生命ホメオスタシス学 (Homeostasis)					コース共通専門分野	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	水5	日本語	英語	オムニバス					
担当教員	氏名 井上 亮, 幸松 美智子 E-mail ryo@oita-u.ac.jp 内線 5051												
授業の概要	生命現象と恒常性維持のメカニズムを細胞レベルで理解し、小児における生理機能についての理解も深める。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7
目標1	生体における正常な細胞機能を説明できる												
目標2	恒常性を維持するための情報伝達機構を説明できる												
目標3	小児生理学の知識を疾病理解および病態アセスメントに活かし、説明できる												
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							10						
授業の内容													
1	細胞活動												
2	細胞活動												
3	細胞活動												
4	細胞活動												
5	睡眠生理学												
6	細胞老化メカニズムとアンチエイジング												
7	小児疾患理解のための病態生理												
8	小児疾患理解のための病態生理												
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	小テスト					工 夫 そ の 他 の						
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	次回の学習内容について予習する(15h)。											
	事後学修	授業で学習した内容を復習する(23h)。											
	想定時間合計	38											
教科書	からだが見える - 人体の構造と機能 (2023) メディックメディア ISBN 978-4-89632-896-7												
参考書	なし												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		期末試験（筆記試験）	100%									
注意事項	看護学科との合同講義である。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	医師、看護師											
実務経験を いかした教 育内容	各疾患の解剖、生理、病理、病態や治療について専門的見地から講義を行う。											